

(2) 11月11日引き継ぎイベント

インタビュアーやちよとした勉強会、飲み会などの集まりを重ねながら、今後のからばり倶楽部のまちづくり活動ビジョンを描く。組織としての体制や活動内容などを、地域のみんなでディスカッションするワークショップを開催した。

3. 小さな、細かな集まりの場をもつ

インタビュアーや、勉強会、イベント、まち歩き、飲み会など、小さな集まりの場を積み重ね、個々のつながり、空堀でのつながり、からばり倶楽部のつながりなどを確認した。若手まちづくりミーティング＆まちづくりインタビュアーとして、ゲストを呼びながら、まちづくりに関する想いや課題をやりとりするミニ座談会を開催した。

今回、報告書づくりなどの「まちづくりの情報収集」、若手まちづくりミーティングや、まちづくりインタビュアーといった「情報共有の場づくり」や、まちづくりパネル展示や子ども空堀カルタ大会といった「まちづくりのきっかけづくり」などを、若手メンバーが共同作業しながらカタチにしていた。そのプロセスは、今後新たなメンバーが空堀やその周辺地域においてまちづくりをするうえで、ネットワークやノウハウを得る最初のきっかけとなった。長年、まちづくり分野では先駆的に取りくまれてきた空堀をフィールドに、その活動メンバーが世代交代するときは大きなエネルギーが求められる。その段階でマイルドHOPEの助成は、新たなチャレンジに向けてのバックアップとなり、若手メンバーを中心にした企画をカタチにし共有できたことは一歩前進できたと思う。今後の展望としては、これから共同作業で得た情報・ネットワーク・ノウハウを活かして、より具体的な地域活動を事業化していくことを目指す。また、空堀をフィールドとしつつも、地域間の交流は今回では十分に広げられたとはいいたい面もあるので、上町台地あるいは大阪を意識した取り組みを盛り込んでいきたい。

今後の 展望

※「3 事業の時期と実施内容等」、「4 事業の効果・今後の展望」は、欄内に記入の上、これらを補足するようパンフレット・チラシ・写真等があれば適宜添付してください。